

第6学年2組 図画工作科学学習指導案

1 題材 みつけたことを話してみよう

2 本題材の指導の立場

(1) 児童の実態

本学級の子どもたちはこれまでに、絵をみてグループ分けをする学習や抽象画をみて感じたことを話すという学習をしてきている。また、教室の後ろにミニ美術館を設置し、日頃から絵にふれる機会をもつようになっている。日常生活の中でも、絵をもとにして会話をしたり想像したりする力は付いてきている。しかし、絵をもとに色や描き方について作者の意図まで思いを巡らせようとする力は弱い。そこで、形や色などから分析的に見たり、意図や気持ちを読み取ったりするなど作品を深くとらえることができるようになるこの期に本題材を取り上げる。図書資料を基に画家の生き方や時代背景等を追究し、画家の表現に意図や工夫があることを感じ、さらにいろいろな芸術に興味をもつとともに、自分の表現にいかそうとする態度を育てたい。このことは、「読書センター」としてだけでなく、「学習・情報センター」として学校図書館を活用していく子どもを育てるとともに、自分の考えを主体的に表現する子どもを育成する上からも意義深い。

(2) 教材の価値

本題材は、有名な画家の作品を、図書を活用しながら鑑賞することを通して、自分や友だちの絵の見方や考え方、発想のおもしろさや楽しさに気づくとともに、作者の意図を考えることをねらいとしている。本教材の1つである16世紀イタリアの宮廷画家アルチンボルドによって描かれた4枚の肖像画は、合わせて四季を表現しているため、時の流れといった作者の表現の意図や特徴を、子ども達に身近にとらえさせることに適した作品である。また、自分の選んだ絵を、図書を活用して鑑賞することは、画家の思いや好み、時代背景による表し方の変化を考えるのに適している。本題材では、子どもたちに身近な有名な画家（ピカソ、シャガール、ゴッホ）をとりあげる。

本題材の学習は、中学校第1学年の「作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げる」鑑賞の学習へ発展していく。

(3) 指導の構え

興味のある画家の本を選び、情報を得ながら鑑賞をする活動は、子どもたちが絵をより深くみることや、さらに芸術に興味をもつために適した活動であると考えられる。



本題材の指導にあたっては、まず、「つかむ」段階で絵のパズルゲームを行い、色や形に着目して鑑賞ができるようにする。次に、「つくる」段階では、絵をみて思ったことをグループや全体で交流し、アルチンボルドに関する図書を紹介しながら、4枚の絵で時の流れを表現している作者の意図にせまらせる。また、自分の好きな画家・作品を選び、「鑑賞の視点」をもとに絵を詳しくみるようにする。そして、「みがく」段階では、選んだ図書から情報を得ながら、作者の思いや好み、時代背景による表し方の変化を考えて交流させる。最後に、「生かす」段階で、他の作者の表現の仕方や絵を紹介することで、さらに絵の鑑賞について興味をもつことができるようにする。

特に本題材では、画家に関する図書（絵や伝記など）を十分に用意しておき、子どもが情報を選べるようにしたり、グループ交流で情報を共有したりすることを通して、学校図書館の活用を図る。

3 目標

- (1) 対象に興味や関心をもって働きかけ、作品のもつよさや美しさについて、友だちと話し合うことを楽しむことができる。【関心・意欲・態度】
- (2) 画家の思いや心の揺れによる表し方の変化、時代や地域の違いによる作者の意図や特徴をとらえることができる。【鑑賞】

4 題材の展開（全3時間）





	配時	学習活動と内容	教師の支援
つかかむ	①	<p>1 だまし絵を見ることで、鑑賞活動に興味をもつ。</p> <p>(1) アルチンボルトの「庭師」を鑑賞し、何が描いてあるのか考える。</p> <p>(2) パズルゲームを通して「四季」を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四季のパズルのピースの色や形をよく見る。 ○色や形の情報をもとに、パズルゲームをする。 ○4枚の絵を完成させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>絵にかくされたひみつを見つけよう。</p> </div> <p>(3) 出来上がった絵を見ながら、思ったことをワークシートに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> ・キノコやブドウが描いてある。 ・なんだか悲しそうな目をしているよ。 ・この人は何歳くらいだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちが絵に興味をもつことができるように、だまし絵を用意する。 ○ 絵の中の色や形に着目できるように、パズルゲームを仕組む。 ○ どの子も自分の思ったことを書くことができるように、絵をみる観点を示す。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎絵をみる視点 色、明るさ、形、時間、場所、におい、音、お話、季節</p> </div>
つく	①	<p>2 絵を見て考えたことを交流し、画家の意図を探る。</p> <p>(1) グループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の書いたところを紹介し、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> ・この絵は花がたくさん描いてあるから、春の絵じゃないかな？ ・よく見ると植物で人間の顔ができていますよ。 ・人が向いている方向にも意味があるのかな。 </div> <p>(2) 4枚の絵を比べて、全体で交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> ・描かれているものを見ると、「春」「夏」「秋」「冬」の絵になっているよ。 ・年齢も春から冬にかけてだんだん高くなっているような気がするね。 </div> <p>(3) 画家の意図を知り、自分達が考えたことと比べる。</p> <p>3 自分のお気に入りの作品を、本の中から選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) お気に入りの作品、画家を選ぶ。 (2) 作品を見て思ったことをワークシートに書く 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 画家の意図をとらえることができるように、描いてある「もの」に着目するよう助言する。 ○ 4枚の絵の中で時が進んでいることがわかるように、四季を順番に並べる。 ○ 意図をとらえることができるように画家の生涯を紹介する。 ○ 自分のお気に入りの絵を見つけることができるよう、図書を十分に用意する。
みがく	本時①	<p>4 選んだ本を読み、絵の見方を再考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 本の中から、画家の生き方や描き方の特徴などを読み取る。 (2) 読み取ったことを、同じ画家を選んだ人同士で交流する。 (3) もう一度絵を見て、思ったことを書き足す。 <p>5 感じたことや読み取ったことを全体で交流する。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>6 本の紹介を聞き、鑑賞に興味を持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> ・時の流れを一枚の絵に表すこともできるんだな。 ・アルチンボルトさんの他の作品も見てみたいな。 ・他の画家はどんな絵を描いているんだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ お互いに見つけた情報を交流できるように、同じ画家を選んだ人どうしのグループで活動させる。 ○ いろいろな画家の絵や生涯に興味をもつことができるように、学校にある本の中から、有名な画家や絵について紹介してもらおう。
生かす			

5 本時の主眼

- 自分が選んだ絵の画家の生き方、時代背景についての本を読むことを通して、画家の思いや好み、表し方の変化、表現の意図や特徴を考察することができる。

6 準備 電子黒板、画家についての図書、PC、ワークシート、ペン

7 本時の展開（45分）

段階	学習活動と内容	教師の支援
<p>つかむ</p> <p>つくる</p> <p>みがる</p> <p>生かす</p>	<p>1 前時の活動からめあてをつかむ。</p> <div data-bbox="271 604 981 667" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 画家が絵にこめた思いを探ろう。 </div> <p>2 選んだ本を読み、絵の見方を考える。</p> <p>(1) 読み取ったこと（画家の生き方や描き方の特徴など）を、同じ画家を選んだグループで交流する。</p> <div data-bbox="247 817 1045 1019">  <ul style="list-style-type: none"> ・ピカソはたくさんの恋人がいたそうだよ。 ・戦争に反対して「ゲルニカ」という絵も描いているよ。 ・人物の絵を描くことが多かったそうだよ。 </div> <div data-bbox="255 1019 1045 1288">  </div> <p>(2) もう一度絵を見て、思ったことを書き加える。</p> <div data-bbox="223 1355 1061 1556">  <ul style="list-style-type: none"> ・ピカソは戦いが嫌いだったんだね。だから、悲しい絵には青や黒などの暗い絵が多いのかな。 ・ピカソは多方面から見たものを見えるままに描いたから、この絵には指が6本もあるんだね。 </div> <p>3 感じたことや読み取ったことをグループ・全体で交流する。</p> <div data-bbox="231 1624 1053 1724" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どの画家も、色や形、モチーフや描き方などを工夫して、自分の「思い」を絵に表している。</p> </div> <p>4 画家についての本の紹介を聞いて、鑑賞への興味を深める。</p> <div data-bbox="239 1803 1021 2027">  <ul style="list-style-type: none"> ・時の流れを一枚の絵に表すこともできるんだな。 ・アルチンボルトさんの他の作品も見てみたいな。 ・他の画家はどんな絵を描いているんだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題をつかむことができるようにするために、前時までの学習を振り返る。 ○ お互いに見つけた情報を交流できるように、グループで活動させるようにする。 ○ 画家に関する様々な情報を得られるように、本に載っている情報は共有するようにうながす。 ○ 画家の「思い」の部分を意識できるように、情報を得たことによって考えが変わったことや、新たに考えたことなどを書き足すように促す。 ○ どの画家も「思い」をもって描いていることがわかるように、全体で交流する時間を設定する。 ○ いろいろな画家の絵や生涯に興味をもつことができるように、小郡市立図書館司書に学校にある本の中から、有名な画家や絵について紹介してもらう。